



12月の園だより

令和5年12月1日
目黒区立不動保育園園長

林試の森公園では色とりどりの落ち葉や木の実が地面を彩っています。朝晩風が冷たくなり冬の訪れを感じられますが、子どもたちは元気に戸外遊びを楽しみ自然に親しんでいます。

今年度も「ふゆのこどもかい」はクラス入れ替え制で行います。先日 3.4.5 歳児クラスの子どもたちは、他のクラスの劇を見合い、「どうだった」と保育士に聞かれると「おもしろかった」と感想を伝え、子どもたちはすぐに歌を覚え劇中歌も一緒に口ずさんでいました。たくさんの刺激をお互いもらい、より頑張ろうとする姿も出てきています。初めて参加する3歳児クラスは、恥ずかしさや緊張から友達と自然に手をつなぎ励まし合いながら協力している姿がとても初々しく、小道具の手袋は子どもたちの可愛い手形が印象的です。4歳児クラスは、鬼や動物になりきって登場し大きな声で台詞を言う姿は頼もしく、ユニークな動物の小道具もアイデアが感じられます。5歳児クラスは複数の役をこなし、場面転換を自分たちで進めています。合奏も年下の子どもたちからの憧れです。子ども同志協力しながら進める姿に成長が感じられます。

保育園最後の大きな行事にお忙しいと思いますが、保護者の方のご参加をお待ちしています。



- ★ ふゆのこどもかい(3, 4, 5 歳児クラス)
3, 4, 5 歳児クラス保護者参加の行事です。
- ★ 乳児お楽しみ会

中旬

避難訓練(全園児)
身体計測(全園児)

※12/29(金)~1/3日(水)まで保育園はお休みです。

絵本とのふれあいの様子

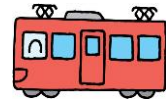


0 歳児クラス 《スズラン組》

動物や食べ物の絵本を見る事を楽しみにしている子どもたちは、棚にある絵本を指さし「わんわん(取って)」と保育士に伝え、犬や馬などの絵をなでたり、すべての動物を「わんわん」で表現しながら楽しそうに見ています。「まんま」と手を叩いてちょうだいポーズをしたり、果物やパンのページを見ていると親指と人差し指でつまむ仕草をしてパクンと口に運び嬉しそうにしています。最近はお話の絵本にも興味を持ち始め、絵本の真似をして体を揺らしたり、保育士の顔と絵本を交互に見ながら好きなページが来るのを楽しみに待ち、期待している姿が可愛いです。これからも友達と共感しながらいろいろな絵本に触れていきたいと思っています。

1 歳児クラス 《チューリップ組》

絵本が大好きな子どもたちは保育士に「読んで」と持って来たり、子どもたち同士で見合っている姿もあります。特に電車の絵本が人気で絵本に出てくる「ガタゴト-ガタゴト-」と揺れる音や「わにだ-わにだ-」の駅名等のフレーズが大好きで、そのページになると一緒に口ずさみます。又、絵本のように友達同士でベンチに並んで座り、体を揺らしながら「次はここだー」と主人公が降りる駅名を言って遊んでいます。これからも物語の世界を一緒に楽しんでいきたいと思います。



2 歳児クラス 《タンポポ組》

質問を聞きながら、絵を探していく絵本が人気です。最初は保育士が読んで子どもたちが探しながら進めていましたが、最近では子ども同士で「一緒に見る」と誘い合うようになりました。保育士役と子ども役になり「〇〇は何処かな」と声をかけ「ここ」と返事をする、「正解」と言い、「次は△△は何処かな」「あった」とやり取りを楽しみながら読んでいます。そんなやり取りも微笑ましく、これからも子ども同士会話を楽しめる絵本やストーリーの役になれるなど色々な経験ができる絵本を楽しんでいきたいと思います。

ふゆのこどもかいに向けての制作の様子



3 歳児クラス 《コスモス組》

劇で使うネズミのお面は耳を黒く、内側は赤く塗り「ミッキーみたいにした」と言ったり、カエルの目にまつ毛を描いて「ぱっちりお目めにした」と自分たちでいろいろ考えて描いていました。出来上がったお面を鏡の前で付けてみて「いい感じ」と嬉しそうに見ている姿に保育士も嬉しくなりました。背景に使う手袋には自分たちの手形を押して作りました。赤や黄色、オレンジを上からどんどん重ねていき「どんな色になるかな」と色の変化も楽しみながら制作をしました。自分の作った物を使う嬉しさや楽しさをこれからも一緒に味わいながら制作をしていきたいと思います。



4 歳児クラス 《マーガレット組》

劇で自分が身に着ける衣装や小道具、皆で使う大道具や背景などは保育士と一緒に考え、見守られながら色画用紙を貼ったり、絵の具や油性ペンなどで塗ったり模様をつけたりしながら自分たちで作りました。お面の土台にちぎった色画用紙を張り付ける時には「この位の大きさにちぎるといいみたい」と友達同士で話していたり、立体の鬼のツノやビニールの衣装に油性ペンで模様を描く時には「裏側も模様を描くんだって」と教えあったりしながら作っていました。初めて衣装を身に着けた時には自分たちで作ったこともあり、とても嬉しそうで誇らしげな表情でした。子どもたちの豊かなイメージを様々な材料や方法で表現できるよう自由遊びの中でも楽しんでいきたいと思います。



5 歳児クラス 《ヒマワリ組》

劇で使用する背景画や衣装、小道具作りをしています。自分で使用する衣装や小道具はイメージを膨らませながらどんな物が場面に合っているかを考えながら作ってきました。練習を重ねていくうちに「小人はおじいちゃんみたいだから“ひげ”を作りたい」と思いつき、制作に入りましたが自分のイメージに合わないようで保育士に「あごにひげが欲しい」と相談し「マスクにひげを付けたら」とアドバイスされ作ってみると「サンタさんみたいでいい」と気に入っていました。自分たちで考えイメージした物が形になる事が楽しくなっているようです。

現在ブロックを使い自分のイメージしたヒラメやカブトムシの幼虫などを形にして玄関に飾っています。「上手」「すごい」と褒められる事で次への制作意欲にもつながっているようです。是非ブロックで作る生き物たちをご覧ください。